平成21年度（対20年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　21　年　5　月　28　日

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	小笠原　朗	電話	483-6587

1．事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	9957	事務事業名称	勝田台浄水場施設改良事業	短縮コード	経常	9957	臨時

予算区分	会計	64	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	02	改良工事費

区分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

平成44年に共用開始した勝田台浄水場は，老朽化しており，耐震化対策を講ずる必要があることから，平成19年度より2か年の継続事業で施設の更新をする。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

なし

総合計画の施策体系		
５本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして
大項目（節）	04	水道
中項目	01	水道
小項目（施策）	01	水道の運営基盤の向上
細項目	01	安定供給の向上
実施計画の計画事業	4404	勝田台浄水場施設改良事業

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	平成19年4月　～　平成21年3月	計画事業費	千円

２．事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	勝田台浄水場
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 平成19年度に引き続き，配水池及び配水ポンプなどの改良工事を行った。 ※平成21年度に計画していること： 改良工事に伴う家屋への影響調査や現況に復旧するための家屋算定及びそれに係る補償を予定している。
意図（何を狙っているのか）	本事業では，阪神・淡路大震災の規模に対応できる施設にするとともに，３階以上の建物に直結給水できるようにする。
結果（どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外

区分			単位	１９年度	２０年度		２１年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	給水能力	m3/日	5,250	5,250	5,250	5,250
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	工事の進捗率	%	34.5	65.5	65	0.5
	指標２						
	指標３						
成果指標	指標１	貯水時間	h	7	13	13	13
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	9957	事務事業名称	勝田台浄水場施設改良事業	所属名	維持管理課

			単位	１９年度	２０年度		２１年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円	177,900	402,500	395,300	
		一般財源	千円	44,973	96,452	96,464	21,455
		その他	千円				
	主な事業費の内訳			○施設撤去等整備工事 37,338千円	○配水ポンプ設備等改良工事 228,564千円	○配水ポンプ設備等改良工事 221,376千円	○家屋事後調査業務委託 6,615千円
人件費(B)			千円	16,772.6	16,572.9	9,864.8	12,860.1
トータルコスト(A)＋(B)			千円	239,645.6	515,524.9	501,628.8	34,315.1

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	浄水場の機能が適正に整備されることにより，水道水の安定供給ができ，水道水の運営基盤の向上に結びつく。
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☑ 達成していない ☐ 評価対象外事項	改良工事に伴う隣接家屋等の補償が終われば,所期の目的を達成することができる。
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☑ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	法的に認可を受けた事業者が必然的に実施するものである。
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	計画どおり事業を推進させるためには，現状の目的及び意図でないと達成できない。
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある ☐ 効率性向上の可能性がある ☐ 両方可能性がある ☑ 可能性がない	隣接家屋等への補償のみであるため,有効性や効率性の向上を求めることはできない。
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 臨時的任用職員等の活用 ☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	類似事務事業名称 1：　　実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2：　　実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある ☐ ない	

コード	9957	事務事業名称	勝田台浄水場施設改良事業	所属名	維持管理課

今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止（事業完了含む） ☐ 休止 ☑ 現状のまま継続	家屋事後調査及び補償が終われば，当事業は完了となる。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費		
		削減	不変	増加
成果	向上	☑	☐	☐
	不変	☐	☐	☐
	低下	☐	☐	☐

当事業が完了すれば，修繕費の削減ができる。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

なし

所属長コメント	工事が予定どおり終了したので，今後は定期的な保守点検等で稼動に異常がないよう維持管理する。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止（事業完了含む） ☐ 休止 ☑ 現状のまま継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。